

三腹遞任、卅八に臣八腹氏、四十に自餘三腹者、また其入彦命子孫、東國六腹朝臣云々、姓氏錄秦忌寸條に、秦氏等一祖子孫別數腹とある皆同じ、これもと韓國より出たる稱なるべし、かの國には、郡を評といへるなど、此たぐひこれかれ有り、

〔本朝月令四月〕同日申上松尾祭事

秦氏本系帳云、略中大寶元年、川邊腹。男秦忌寸都理、自日塔岑更奉請松尾、又田口腹。女秦忌寸知麻

留女、始立御阿禮、

〔新撰姓氏錄山城國諸蕃〕秦忌寸

太秦公宿禰同祖、略中秦氏等一祖子孫、或就居住、或依行事別、爲數腹。天平廿年、在京畿者、咸改賜伊

美吉姓也、

〔續日本紀桓武〕延曆九年十二月辛酉、勅、略中土師氏總有四腹。中宮母家者、是毛受腹也、故毛受腹者、

賜大枝朝臣、自餘三腹者、或從秋篠朝臣、或屬菅原朝臣矣、

〔書言字考節用集四人倫〕ウシスシヤウ氏種姓

〔太平記劔卷〕爲義ノ翬熊野ノ別當教真也、舅ノ方人ノ爲ニトテ上タル由云ケレバ、爲義モ是ヲ聞

テ、氏種姓ハ知ラテ共、甲斐々々敷者也ケリ、何ナル人ノ一門ゾト尋ヌレバ、略下

〔藤原家傳上〕内大臣諱鎌足、略中其先出自天兒屋根命、世掌天地之祭、相和人神之間、仍命其氏曰中

臣、

〔日本靈異記上〕憶持法花經得現報示奇異表緣第十八

昔大和國葛木上郡、有一持經人、丹治比之氏也、

〔日本書紀天武二十九〕十二年十月己未、三宅吉士、草壁吉士、伯耆造、船史、壹伎史、婆羅羅馬飼造、菟野馬飼

造、吉野首紀、酒人直、采女造、阿直史、高市縣主、磯城縣主、鏡作造、并十四氏、賜姓曰連、

姓氏之別